

「今、必要なもの」をお客様にお届けできる会社であり続ける

ツウテック株式会社は「モノ創りを通じて、優れた価値を迅速に提供すること」をコンセプトにあらゆるニーズにお応えできるよう、最新の設備と技術者の力によって1990年に設立致しました。

金属を中心に精密切削加工に挑戦し、その成果もあり首下径0.2mmのネジ製作の実現や精密切削加工技術を競うコンテストにおいて多数の賞を受賞するに至りました。

日本国内のみならず、国外でも技術の発展により、安価な加工部品を製作出来るようになった一方で半導体関連や航空宇宙においては、より高精度な加工技術が必要とされるようになりました。

このような高度なニーズに応え続けるために、デジタル技術を活用した変革が求められてきたので、これまで以上に高い技術を進歩させ、技術を継承していく為にも「業務の効率化」「情報活用」「人材育成」が必要となります。

そこで社員一丸となり要望を吸い上げ、労働環境の改善に努め「業務の効率化」を図ると共に、納期短縮や収益率向上を実現しております。

更なるデジタル技術の活用により、ノウハウを次世代に継承させ人材育成を行う事で「今、必要なもの」をお客様にお届けできる会社であり続けます。

代表取締役 増田 和俊



— システム導入前 —



部署間での情報連携が出来ていない



設備稼働率が不透明



担当者の作業内容が不透明

— システム導入後 —



進捗状況や設備稼働状況を
各部署がリアルタイムで確認可能



設備稼働率の改善、可視化



作業内容と各担当者が紐付
くことで正当な評価を実現

今後の実現項目

- ・システムによる勤怠情報を管理。
- ・勤怠情報と生産管理情報の連携。
- ・受発注から納品までの書類の自動発行。

戦略を効果的に進めるための体制



意思表示

- ・ 全社員に対して今後DX推進を行っていくということを朝礼等で伝達し意識改革を行っていく。



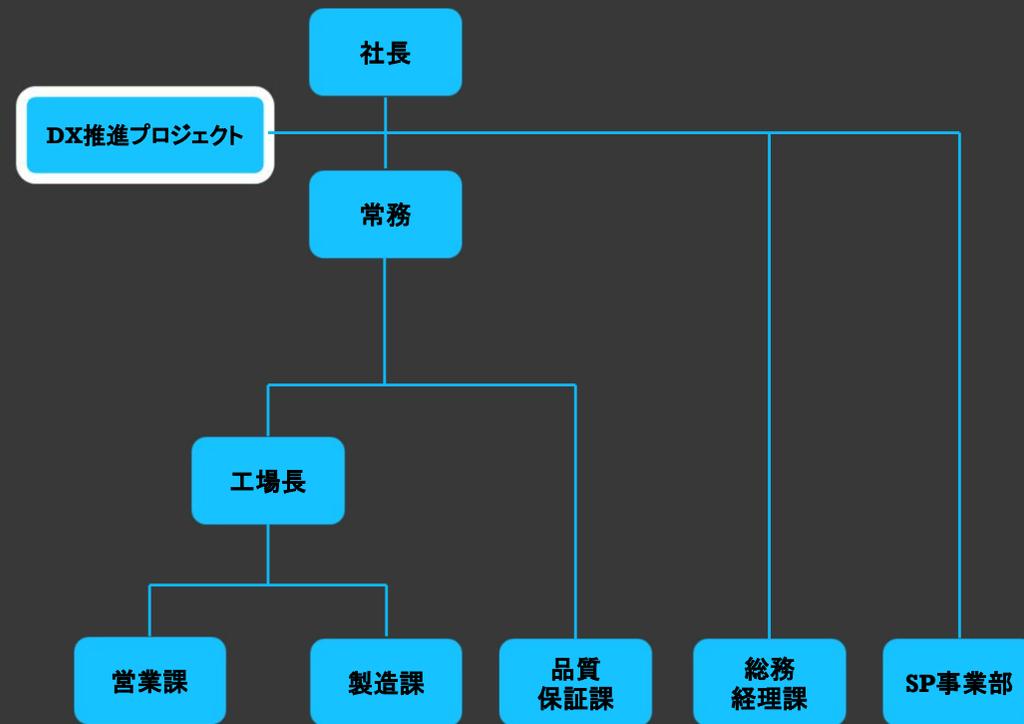
連携

- ・ 推進プロジェクトが全ての部署からの要望をリスト化しシステム開発者とも連携しながら定期的プロジェクト会議によってさらなるシステム向上を促す。



人材確保+スキル教育

- ・ デジタル人材の確保にも尽力しながら全社員に積極的なシステム活用を促し必要なスキル教育を実施していく。





最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策



受注

- ・システムに基本情報となる情報を入力。
(番, 納期, 金額等)



QRコードを発行

- ・発行したQRコードを読み取ることで基本情報を閲覧可能。



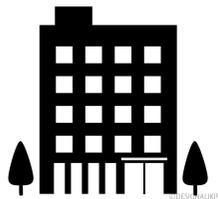
工程入力、発送

- ・各担当者はQRコードを読み取り作業内容を入力。
発送日を入力し発送。

- ・各部署のPC保有者は自社開発システム「TwoTeqSystem」をインストール済み。
- ・PCと同様のシステムがインストールされたタブレット端末を支給し各位置に配置。
- ・各従業員にはログイン時に必要なアカウント、パスワードを発行しシステム担当者が一元一括管理することにより、安全なセキュリティが保たれている。
- ・工程、材料、従業員検索はもちろんのこと、設備一覧から稼働状況も閲覧可能。



戦略の達成状況に係る指標



会社全体

- ・従業員の満足度や働きがい
- ・DX戦略による生産性の向上



営業課

- ・受注件数を2022年、2023年と比較し
13.1%UP以上の向上



製造課

- ・工程管理の生産性向上により
平均通常納期を10%程短縮を実現
- ・工程別寄与度を基にした評価制度の構築

納期	割合	備考
2022/1/1～2022/12/31	13.1%UP↑	
2023/1/1～2023/12/31		2023/10/27現在